

第
10
回

かわさき演劇講座

ゼロから芝居を創ってみよう

声を出す

身体を動かす

セリフを読む

仲間とシーンを作る

リアクションする

講師：大谷賢治郎さん
(演出家・company ma 主宰)

1972年に始まった「かわさき演劇まつり」は、市内で活動する演劇関係者と市民が、一年一年力を合わせて作り上げてきたものです。これだけ長い期間市民と自治体が協働して一つの演劇祭を続けている例は他にないと言われます。

2001年以降は演劇の上演と演劇講座を隔年ごとに開催。市民が演劇に触れる場と、「舞台作り」参加の機会の両輪で事業を進めて参りました。

さて次回2020年7月の演劇まつりは、『冒険者たち ガンバと15ひきの仲間』（公演）に決定！この舞台の演出にあたる大谷さんが、公演も見すえた内容の講座を行ないます。ふるってのご参加お待ちしております。

かわさき演劇まつり実行委員会

2019.

7月13日(土)・14日(日)
10時～17時

会場：高津市民館 大会議室
(JR 武蔵溝ノ口駅・東急溝ノ口駅下車3分)

主催：かわさき演劇まつり実行委員会
(公財) 川崎市文化財団

ゼロから芝居を創ってみよう



先生、お芝居をゼロから
つくるってどういうこと
ですか？
台本はないんですか？

現在世界では、戯曲や台本を最初からは使わない、「ディバイジング」という手法が多く使われています。それは、いわゆる「稽古」とは違って、「創る過程」を大切にするもので、演出家や俳優、場合によっては作品創造に関わる様々なスタッフ（音楽家、振付家、照明デザイナー、舞台美術家など）とともにゼロから作り上げる方法です。

この講座の2日間、
どんなことをするん
ですか？



今回の演劇講座では参加者の皆さんと一緒にこのディバイジングを体験したいと思います。参加者の皆さんが今関心のあることをテーマに、何もないところから芝居をつくってみたいと思います。

また、来年夏開催のかわさき演劇まつりに上演が予定されている、斉藤惇夫・作「冒険者たち：ガンバと15ひきの仲間」のテキストからのシーン作りにも挑戦したいと思います。



講師 大谷 賢治郎さん

演出家。company ma 主宰。1972年東京出身。サンフランシスコ州立大学芸術学部演劇学科卒。劇団銅鑼、青年劇場、人形劇団クラルテ、川崎市民劇団「わが町」などで演出家として活動、自ら主宰するカンパニーでは、子どもと大人が一緒に楽しめるオリジナル作品の構成・演出を手掛けている。日本の農業の未来を考える、大林千茱萸監督による記録映画「100年ごはん」に主演。東京国立博物館「トーハク劇場へようこそ」、音楽家・青柳拓次と「オトコトバヅクリ」など、子どもから大人までを対象にした様々なワークショップを日本や海外で行なっている。アシテジ国際児童青少年舞台芸術協会世界理事。桐朋学園芸術短期大学特任講師。

■対象・定員

講座に関心のある方、40名（先着順）

参加費：高校生以下 500 円
一般 1000 円
(初日にご持参ください)

■持ち物

動きやすい服装、上履き、タオル、飲み物、筆記用具、昼食

■申し込み方法

(1) 名前(ふりがな) (2) 年齢 (3) 住所 (4) 電話 (5) メール に、「かわさき演劇講座 参加希望」と書き添え、FAX またはメールでお送りください。6月30日(日) 締切

■申し込み先

かわさき演劇まつり実行委員会 事務局
FAX 044-533-6694
メール matsuri_engeki@yahoo.co.jp

■お問い合わせ

川崎市文化財団 044-272-7366
川崎演劇協会 044-511-4951



連絡先 QR コード

